



第18回

日本臨床獣医学フォーラム 年次大会 2016

2016年9月23日(金) 24日(土) 25日(日)

★23日(金)は朝から講義, 昼から展示が始まります★
ホテルニューオータニ東京 (東京都千代田区紀尾井町)

[主催] 一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム
JBVP, Japanese Board of Veterinary Practitioners

もっと考えよう 伴侶動物との暮らし
— どうぶつにやさしい医療 —

Future : 今こそ, 伴侶動物医療の未来を見つけよう

JBVP 年次大会で伴侶動物医療の未来を見つけましょう!

近年, 動物種や年齢の分布の変化, 獣医学の発展と技術や機器の進歩, 動物とご家族の生活の変化など, 常に変わっていく世界の中で伴侶動物医療の進むべき「未来」が見えづらくなっています. こんな時だからこそ, 多様化した伴侶動物医療のニーズに応えられる「未来」をJBVP年次大会で見つけましょう! そのため必要な, 多種多様なプログラムを提供いたします. また, 伴侶動物医療のバックボーンである「人と動物の絆」をもう一度見直すプログラムもご用意しています.

今年の年次大会では, 明日の診察に役立ち, 未来を考えられる様々なプログラム(仮)をご用意しています. 腫瘍学では膵臓や肺の腫瘍, 神経病学では脳脊髄液検査や後肢不全麻痺へのアプローチ, 眼科学では眼底検査とその疾患, 歯科学では口腔内X線の撮影と評価そして歯周病, 整形外科では触診とX線検査による跛行診断と骨折治療の術式の選択, 皮膚病学では脱毛症と猫の頭頸部の皮膚病, 循環器病学ではCHFと心肺の聴診など, 血栓止血シンポジウムでは凝固系の診断とDICの診断と治療, 腎臓病学では慢性腎臓病, その他にも画像診断学, 内分泌学, 呼吸器病学, 消化器病学, 動物行動学など, 多くの参加者のニーズに合うように考えました.

今年は, サブテーマを「Future : 今こそ, 伴侶動物医療の未来を見つけよう!」として, ご参加の皆さんと共に, 伴侶動物医療の明るい明日を創っていきたいと思います.

実行委員一同

■ ポスターセッション 申込み ■

発表演題 申込み	s-moushikomi@jbvp.org カテゴリー(〇〇学), 演題名, 要約*, 申込者名, 連絡先(住所, 所属先, 連絡のつきやすい電話番号, メールアドレス)を記載して, E-mail または FAX にてお申込みください. お申込みをいただいてから, 受付確認の返信と投稿規定をお送りします.
演題名 / 要約 締切	4月4日(月) *要約は, 内容を詳しく知るために一旦提出いただきますが, 抄録提出の際に修正可能です.
抄録原稿 提出締切	5月25日(水) ・抄録原稿は, 発表が決まったすべての方に提出いただきます. 締切までにご用意ください.
アワード開催	<ul style="list-style-type: none"> ・選考委員会を設置し, アワード表彰を行います.(豪華賞品を贈呈します) ・発表内容を事前に委員会で確認し, 必要に応じて調整をお願いすることがあります. ・選考のために, 発表内容のPDFを事前にご提出いただくことがあります. ・申込みや発表についてのご相談は, 申込みのアドレスまでご連絡ください.

日本臨床獣医学フォーラム 年次大会事務局

TEL 03-3355-3979 FAX 03-3355-6787

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-5 ミサビル2階

海外講師プログラム

今年も魅力的な海外講師がニューオータニに集まります！ドイツの Giessen 大学の臨床病理学教授である Dr. Andreas Moritz には「犬と猫における貧血を伴わない網状赤血球症」、「ドットプロットは日々の臨床にどう役立つのか？」他を講演していただきます。次にアイルランドの Dublin 大学からは内分泌専門医の Dr. Carmel Mooney が「猫の甲状腺機能亢進症；原因，転機，診断」，「猫の甲状腺機能亢進症の治療」，「犬の甲状腺機能低下症の診断時における問題点」をお届けします。さらに猫専門医で AAEP の現会長でもある Dr. Susan Little の来日も決定しました。海外講師は皆，日本の獣医師の先生方とお会いすることを楽しみにしています。今年の JBVP 年次大会では，ぜひ海外講師による講演にご参加ください。（すべての講義は優秀な通訳者による逐次通訳付きです）

Dr. Andreas Moritz



Dr. Carmel Mooney



Dr. Susan Little



クリニカルレクチャー

臨床家が遭遇する日常の症例では，同じ疾患であってもその症状は千差万別で，治療も含め多方面からのアプローチが必要となります。このプログラムでは，実際の症例について，まずアドバイザーによる基礎的なレクチャーを行い，参加者全員が一度同じスタートラインに立ったうえで症例の紹介があります。その後，問題点を明確にしながらか参加者全員で，ディスカッションすることによって最良の答えを導き出していくことが，クリニカルレクチャー最大の魅力であります。

JBVP スペシャルシンポジウム

人類が伴侶動物と暮らして1万年以上と言われます。現代社会における諸問題の中，伴侶動物との暮らしの中には様々な解決の糸口が示されているように感じます。長年，「どうぶつにやさしい医療」に向き合っている伴侶動物医療関係者とどうぶつのご家族が一堂に集う場で，実際の臨床現場の事例を取り上げ，具体的に動物の臨床状況や獣医師の考え，ご家族の心情を提示し，会場の参加者とアドバイザーの先生方とでディスカッションを行います。ご一緒により良い未来を創る「どうぶつとの暮らし」をもっと考えませんか？

動物看護師 (VN) プログラム

動物病院において動物看護師の果たす役割は非常に多様で高度になってきています。その責任を果たすために，毎年基礎を学び直し確認するための講義に加えて，今年は少し発展した内容のステップアップの講義を用意しました。また，獣医師向けの講義にも参加することが可能ですので，より高度な知識を身につけたいと思われる方は是非獣医師向けプログラムにもご参加ください。今年も皆様の期待に添える講義を沢山ご用意していますので，是非ともご参加ください。

安心してください！今年も3日間フルに企業展示やっています！

「金曜日にも企業展示に行きたい」「参加企業が多すぎて，2日間では回りきれない」などのご要望にお応えし，今年も企業展示を初日の9月23日（金）昼の開会式からオープンいたします。伴侶動物医療関連では国内最大級の2300m²を超えるスペースに多くの企業が集まり，大会特別サービスや特別価格（予定）をご用意しています。普段お手にとって見ることのできない品々を，身近にご覧いただけます。

伴侶動物医療の未来を見つけるためのアイテムが勢ぞろい。是非ご来場ください！

■ 事前登録 申込み ■

事前登録 締切

9月2日（金）

次回アナウンスメントがお手元に到着する6月中旬（予定）から事前登録を受け付けます。ウェブサイトからお申込みいただけます。

早割特典

事前登録手続きを期限内に完了された方に，大変お得な特典をご用意します。詳しい内容は次回アナウンスメントにて発表いたします。早期登録でお得なチャンス，お見逃しのないようにご期待ください！

■ 次回アナウンスメント ■

今後のお知らせ

次回アナウンスメントは6月中旬頃の発行を予定しています。プログラム内容の詳細は，次回アナウンスメントおよびJBVPウェブサイト，Facebookにて最新情報をご確認ください。